

国立大学法人旭川医科大学役員給与規程の一部を改正する規程を次のように定める。

旭川医科大学長 吉田晃敏

国立大学法人旭川医科大学役員給与規程の一部を改正する規程

国立大学法人旭川医科大学役員給与規程（平成16年旭医大達第173号）の一部について、下表右欄（「現行」欄）を、同表左欄（「改正後」欄）のように改正する。

※下線部分は改正箇所を示す。

改正後	現行
<p>(略)</p> <p>(期末特別手当)</p> <p>第12条 (略)</p> <p>2 期末特別手当の額は、それぞれその基準日現在（退職し又は死亡した役員にあっては、退職し、又は死亡した日現在）において役員が受けるべき基本給月額並びにこれに対する調整手当の月額及び広域異動手当の月額の合計額に、当該合計額に100分の20を乗じて得た額及び基本給月額に100分の25を乗じて得た額の合計額を加算した額に、<u>100分の167.5</u>を乗じ、基準日以前6箇月以内の期間におけるその者の在職期間の次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める割合を乗じて得た額とする。</p> <p>(1)～(4) (略)</p> <p>3～6 (略)</p> <p>(略)</p> <p><u>附 則</u></p> <p><u>この規程は、令和3年1月6日から施行する。</u></p> <p>【改正理由】</p> <p>国家公務員の給与改正に準拠するため、所要の改正を行うものである。</p>	<p>(略)</p> <p>(期末特別手当)</p> <p>第12条 (略)</p> <p>2 期末特別手当の額は、それぞれその基準日現在（退職し又は死亡した役員にあっては、退職し、又は死亡した日現在）において役員が受けるべき基本給月額並びにこれに対する調整手当の月額及び広域異動手当の月額の合計額に、当該合計額に100分の20を乗じて得た額及び基本給月額に100分の25を乗じて得た額の合計額を加算した額に、<u>100分の170</u>を乗じ、基準日以前6箇月以内の期間におけるその者の在職期間の次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める割合を乗じて得た額とする。</p> <p>(1)～(4) (略)</p> <p>3～6 (略)</p> <p>(略)</p>